

<TBSNEWS> 10月29日

「活動に支障」 学術会議が政府に見直し求める

井上科学技術担当大臣が意見交換のため日本学術会議を訪問しましたが、担当者からは、菅総理が6人の会員任命を見送ったことで活動に支障をきたしているなどの声があがりました。井上大臣との意見交換会には、梶田会長のほか、人文社会科学、生命科学、理学工学のそれぞれの学問領域の責任者が参加しました。このうち、推薦された会員候補の6人を抱える人文社会科学部門の担当者は、菅総理が任命を見送ったことで“定員のおよそ1割が欠けた状態”として、次のように求めました。「学術会議の健全な活動のための条件が損なわれている。そういうふうには言わざるを得ない。政府との信頼関係が損なわれ、日本学術会議が果たすべき役割を果たすことが困難になりはしないかということで大変危惧をしている」（第一部〔人文・社会科学〕 橋本伸也部長）